

# 通明小学校150周年事業たより

150から200周年へ、時をさきがけ、未来をつかもう

～ The power to change myself ～

「一人一人の勇気で、新しい世界の光となれ！」

## 第7号

令和5年1月1日

通明小学校150周年記念事業  
実行委員会

## 実行委員長あいさつ

通明小学校150周年記念事業  
実行委員長 久保田 盛雄



### ご寄付の御礼 / 150周年YEARを迎えて

新年明けましておめでとうございます。

昨年は多くの皆様よりご寄付を頂戴しました。

卒業生の方をはじめ、お子さんが在校生や卒業生の親御さん、軽トラ市のブースに寄って頂いた方、回覧板を見て下さった方、商店の皆さんや地元企業の皆様より、温かいお気持ちが届きました。本当にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

いよいよ4月より150周年記念事業がスタートです。記念企画や記念イベントの詳細・進捗状況につきましては、この事業たよりやホームページ等を通じて情報発信をまいります。地域と共に歩んだ通明小学校の記念すべき年を、地域の皆様と共に盛り上げていきたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願い致します。

\*引き続きご寄付の募集を継続いたします。みなさまの温かいお気持ち、まだまだお待ちしております。

## 記念式典の開催方法について

～ 記念式典と記念音楽会を  
ホクト文化ホールで開催決定！～

記念式典の開催日を令和5年11月10日に変更

記念音楽会と記念式典をホクト文化ホールで同時開催



ホクト文化ホールは、昭和58年に開館。大ホールは、客席数1,971席、2層のバルコニーを持ち、県内最大規模の多目的ホールです。



コロナ禍のなか、「全校児童が一堂に会する、心に残る記念式典を開催するためにはどうしたら良いか？」を前提に協議を重ねた結果、ホクト文化ホールの大ホールにおいて、記念音楽会と記念式典を同時に開催することが決定しました。

今後、プログラム等を作成してまいります。保護者の皆様、地域関係者の皆様にもご参加いただけるような開催方法を検討していきます。

# 創立150周年記念横断幕の設置について



在校児童や地域の皆様に広く周知を図ることを目的として、通明小学校正門前の自然観察園内に創立150周年を告知する横断幕を設置しました。

明治6年に本校が開校してから1万8千人余の児童が卒業し、篠ノ井地区の発展の礎を築いてまいりました。この伝統ある学校にふさわしい記念事業を実施し、多くの皆様とお祝いできればと思います。

右図は平成28年の正門。  
左図は昭和38年の正門。  
門柱や黒松の位置を比較すると移り変わりの様子が良く分かります。



## マンガ記念誌の制作報告について

～ 児童も大人も楽しく読める記念誌を ～

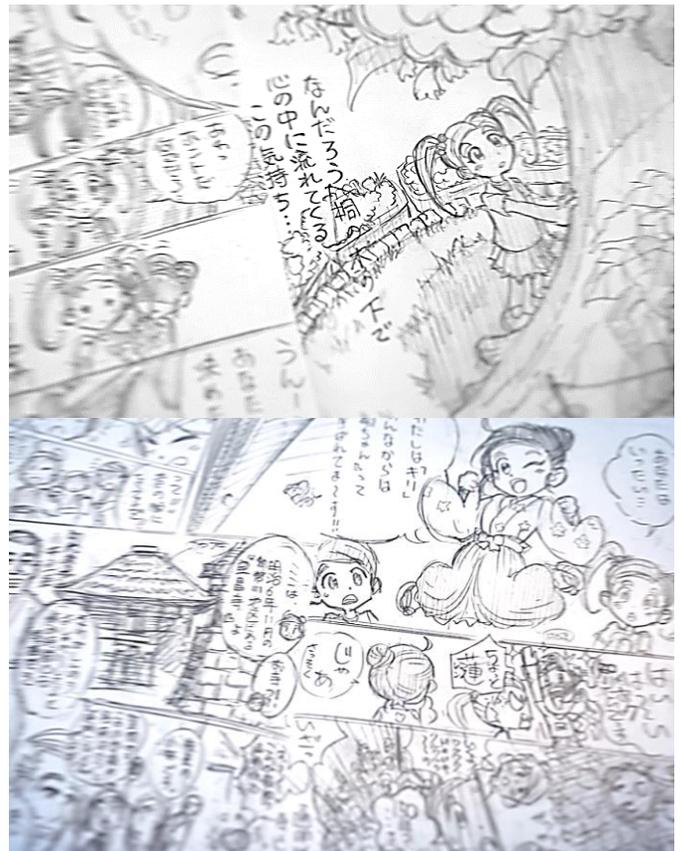
マンガにより通明小学校の歴史を紹介

資料等を中心とした創立140年から150年までのあゆみの2部構成

児童に学校の歴史をわかりやすく伝えることを目的にスタートしたマンガ記念誌。現在は、右図のようにネーム作業（下書き前の段階）の推こうへと進んでいます。限られたページ数の中で、歴史のどの部分を切り取りマンガとして残すかを検討しています。

また、通明小学校では10年ごとに記念誌をまとめ、学校のあゆみを記録してきた伝統があります。今回もマンガと併せて10年のあゆみを中心とした記録を整備し、「児童も大人も楽しく読める記念誌」として1冊にまとめ発行することとしました。

記念すべき150年の節目にふさわしい記念誌とすべく、絶賛奮闘中です。



総事業費800万円にて整備事業を計画

長野県「地域発 元気づくり支援金」事業の支援金補助500万円を申請予定



150周年の庭の開発予定図。ウッドデッキをメインに据えた明るく開放的な庭とします。正面奥のどんぐりの林はそのままに、記念碑は1カ所にまとめ、両サイドには季節を感じる株立ちの中高木を植樹。

正門横の自然観察園（通明図書館跡地）に整備予定の「150周年の庭」について、整備概要がまとまりました（予算の関係上、仕様が変更となる場合があります）。

庭のシンボルとして国産ヒノキ材を用いた「ウッドデッキ」を造ります。休憩用のベンチとして、時には合唱、金管バンドの屋外ステージとしての利活用を見込んでいます。



## 『150周年の庭』基本コンセプト

### 1 200年まで続く通明小と地域の集いの庭（広場）

新型コロナウイルスの感染拡大、地球温暖化に起因する自然災害、ロシアによるウクライナへの侵略戦争等といった先行きが不透明な時代において、子育て支援を基本とした、児童と地域住民との交流拠点として、幅広い世代が集い、憩うことができる庭（広場）として整備します。

### 2 SDGs（持続可能な開発目標）の実践、成長する庭

SDGsとは、すべての人々にとってよりよい、より持続可能な未来を築くための青写真です。このSDGsの基本精神に則り、150周年の庭の造園にあたっては、天然素材や環境負荷に配慮した素材を中心として活用します。

また、記念事業後に荒廃しないサステイナブルな庭として、学校の協力のもと、拡張・維持整備を継続して行います。



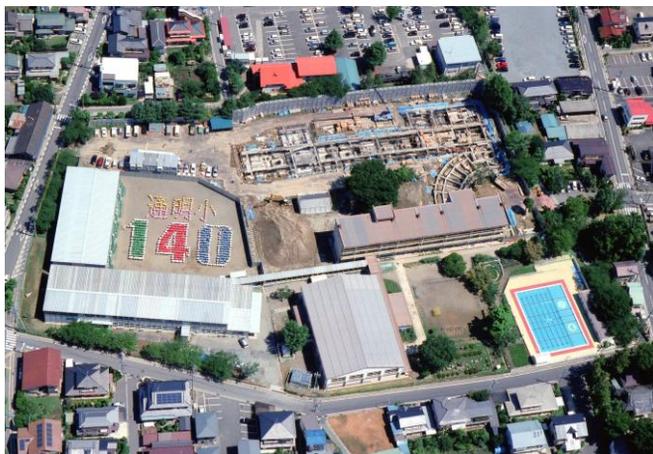
### 3 災害の歴史を伝える庭

令和元年東日本台風（台風第19号）災害により、篠ノ井地区では床上浸水688世帯、床下浸水615世帯の大きな被害が出ました。地域子ども達に対する防災教育の一環として、この記録を後世まで伝える「自然災害伝承碑」を設置します。

開発にあたって800万円もの多額の事業費が必要となることから、長野県地域発元気づくり支援金を申請することとしました。地域と児童を結ぶ新たな交流拠点とする整備コンセプトが補助事業の目的に適合します。申請額は上限額の500万円と多額ですが、充実した計画と適正な運用・執行により受給の実現につなげてまいります。

# 150周年記念の航空写真の撮影について

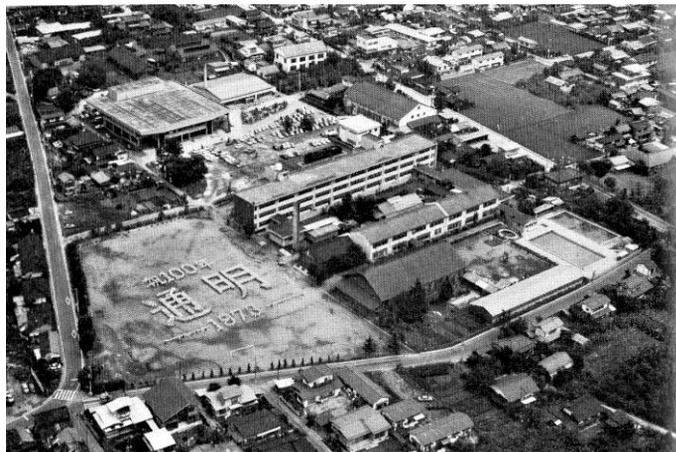
創立100周年から続く航空写真 もちろん！今回も撮影します



右図は100周年記念の航空写真。体育館とプールが各2つあります。

上図は140周年記念での航空写真。建設中の北校舎や昇降口があります。

周年事業といえば欠かすことの出来ない航空写真ですが、150周年についても記念事業の企画として実施します。令和5年5月に、全校児童参加によるドローン撮影を行う予定です。



## 銀行振込によるご寄付者の皆様へ

～ 寄付の特典を受けるための  
大事な手続きを忘れていませんか～

おなまえやおところのご連絡がないとご寄付の特典がお受け取りできません！

郵便局以外の金融機関から寄付金をお振込みの場合は、漢字によるお名前確認ができないため、下記の事項を事務局あてにメールでお知らせいただくか、同窓会HPに掲載されている「寄付報告書」を学校事務室へご提出することをお願いしておりますが、数名の方からご連絡をいただいております。

ご連絡のない場合は、1万円以上の寄付金に対する特典（①マンガ記念誌贈呈、②銘板に御芳名を掲載）を受けることが出来ませんので、お心当たりのある方は至急事務局までご連絡ください。



【ご連絡先】

事務局メールアドレス：ts150jimu@gmail.com

【お知らせ事項】

- 1)お振込日、2)お振込額、3)振込先金融機関、4)銘板のご芳名掲載希望の有無、5)おところ、6)おなまえ、7)ご連絡先電話番号

## 編集後記



篠ノ井駅前の各種イベントと連動して、合計6回にわたり150周年記念ブースを出店し、活動のPRとご寄付のお願いを行ってまいりました。

このブースの出店や配布用缶バッジづくりを毎回手伝ってくれた中学生がいます（詳細はHP）。左図のゴム印や体育館のペーパークラフト等を作って、私たちの活動を大いに盛り上げてくれました。

彼の通明小が大好きな気持ちを通じて、小学生の頃の楽しかった記憶を思い起こしました。

同窓会HP

